

12/10（日）オンライン・ライブプレゼン・フェス（LPF）

<タイムスケジュール>

13:00～13:30：開会・報告者による3分間スピーチ

13:30～15:00：プレゼン・タイム

15:00～16:00：藤本隆宏先生のミニ講義

16:00～17:30：プレゼン・タイム

17:30～19:00：オンライン会場内での懇親会・閉会

<報告要旨（申し込み順）>

張婧（金沢大学）「記憶に残るサービス経験（MSE）の概念化」

近年、マーケティングとマネジメント分野において、顧客経験や顧客経験マネジメントという概念が注目されている。顧客体験は、時間の経過とともに蓄積されたり変化したりするという動的な性質を持っているにもかかわらず、既存の研究では、ある時点における特定のタッチポイントに焦点を当てている。本研究は、記憶に残るサービス体験（MSE）を定義することで、顧客経験の動態的特性を解明し、顧客経験理論を拡張することを目的とする。

松井一樹・橋本敬（北陸先端技術大学院大学）「他者との関係についての認知メカニズムに着目したEBPM向けシミュレーションモデルによる米国での外出自粛要請の受容性に関する要因分析による評価」

本研究は、人々の行動変容を求める政策の受容性に寄与する要因を見出す方法論として、他者の行動に関する認知メカニズムに着目したシミュレーションモデルを構築し、実データと合わせた重回帰分析という複合的方法を提案する。政策の一例として、2020年の米国のCOVID-19感染症に対する外出自粛要請への人々の反応について、行動の地域差の要因を分析した。その結果、外出自粛要請の受容性に個人の認知や特性の考慮の必要性を見出した。

原田魁成（金沢大学）「訪日外国人消費動向調査の個票データを用いた訪日客の観光行動に関する研究」

本研究では観光庁が実施する訪日外国人消費動向調査の個票データを用いて、石川県及び新潟県への訪日観光客における観光行動の違いについて解析した。その結果、石川県への訪日客は日本各地の歴史的建造物を巡る伝統文化堪能型、新潟県へは入国地と目的地のみを往復するウィンタースポーツ堪能型と推察される行動パターンが明らかとなった。今後は地域資源に適合させた望ましいEBPM型観光誘致戦略の構築を目指す。

鄭見橋（専修大学大学院）「中国における地域通貨導入の意義と可能性ー進化経済学の視点からー」

日本において中国の地域通貨についての研究あまりなかったのため、中国における地域通貨が存在するかどうかを確認する上に、地域通貨導入の意義と可能性について分析するものである。もし存在すると進化経済学の視点からどのように捉えるかを試みたい。

高橋輝樹（預金保険機構）「現代資本主義の課題ーレンティア資本主義」

2008年をピークとする世界金融危機以後を現代と捉え、富の源泉や経済主体の変化などの観点から現代資本主義の様相、そこから生じている分断や格差などの問題点、それらに対する修正・是正の主な提言を整理する。そしてそれらの背景となっている現代資本主義の本質を「レンティア資本主義」と指摘し、その修正に必要な論点として「正義」と「貨幣制度」の見直しを訴える。

森田和樹（専修大学大学院）「web3上のコミュニティ通貨を媒体とする地域共同体の共創の可能性について」

近年ブロックチェーン技術を活用し流動性を高めた資産であるRWA（リアル・ワールド・アセット）が登場し、現実社会へのインパクトを強めようとしている。本稿ではRWAを活用したweb3での実証実験のひとつであり、新しいDAOとして行われている石高プロジェクトが、実際に地域経済に影響を与えるポテンシャルをもち、市場ではなく互集的に支えあう共同体の構築の可能性があるかどうかを明らかにすることを目的とする。

遠藤剛（北陸先端科学技術大学院大学）「人間の道徳的意思決定に対話型生成AIが与える影響」

ChatGptなどの対話型生成AIは、現在急速に普及している。対話ベースで情報検索、アドバイス等様々な用途に利用出来、意思決定支援での利用もされつつあるが、技術の進化と利用拡大のスピードに反して、人間社会にとって重要な人間の判断やモラルへの影響は未だ十分に研究されておらず、生成AIによる影響度合いを調査する事は喫緊の課題である。本研究では、ChatGPTを用いた意思決定への影響度合いの研究を行う。

清水啓太（早稲田大学大学院）「ケーススタディをつくるー建築解体業のプロセスイノベーションー」

本ポスター報告では、作成中の教育用事例研究の概要をお示しし、参加者の皆様のコメントを頂戴できればと存じます。本ケースが対象とするのは、これまで職人の世界だった建築解体業界で、科学的管理法を起点に作業標準化と顧客へのベネフィットの提供を実現した中小事業者です。自社で開発したツール・工法で、業界に変革を起こすことができるのか。その製品開発と市場導入の過程を描きます。